

ミサイル攻撃などに備えた 市国民保護計画の内容は

越川 好昭

●綾瀬市国民保護計画の位置づけについて
Q 米国と日本政府の軍事圧力により朝鮮半島の緊張が高まっている中、基地を抱える本市へのミサイル攻撃が懸念されるが、本市国民保護計画の内容は。
A 計画には、ミサイルの発射などに備え、武力攻撃が国民生活などに及ぼす影響を最小限にするための国・地方公共団体の責務、避難、救助、武力攻撃などへの対処の措置が規定されている。平成19年1月に計画を策定して以来、運用する事態は発生していないが、今後も変動する国際情勢に注視し、情報収集に努めたい。

●日米地位協定改定の具体的な内容を加えて、国に求めたいか
Q 市民が受けている基地被害を解消するために、本市では毎年、市と議会で厚木基地に関する要望書を国に提出して、日米地位協定の抜本改定を求めている。この機会に限らず日米地位協定の具体的な改定の要望を出さないか。
A 日米地位協定は、日本の米軍活動の取り決めでありこれまで、渉外知事会や本市も構成員である県基地関係県市連絡協議会などで、具体的な個別内容を示す形での要望が行われている。今後も引き続き市議会などと協力しながら見直しを求めていく。

第4次綾瀬市行政改革大綱の 策定で変更すべき課題は

志政あやせ 橘川 佳彦

●第4次綾瀬市行政改革大綱「経営戦略革新プラン2017」について
Q 第4次市行政改革大綱の策定に当たり、変更すべき課題は。
A 削減型の改革が一定の水準に達したため、質的向上を図る改革への転換を基本に、主体的・創造的な取り組みを促進する計画とした。
Q 第4次市行政改革大綱で、具体的な行動計画を策定しない理由は。
A 前大綱の行動計画が、

この10年間で庁内組織に根付いたことから、今計画では大綱の柱に重点目標や重要指標を掲げ、創造性を発揮しながら主体的に取り組んでいく。
●ガバメント2.0の推進について
Q 市民と共に取り組む、新しい仕組みづくりであるガバメント2.0の推進状況は。
A ガバメント2.0は、市民が市政に積極的に参加できる手段であると認識しており、オープンデータ化に取り組みとともに、市民参加型の

この10年間で庁内組織に根付いたことから、今計画では大綱の柱に重点目標や重要指標を掲げ、創造性を発揮しながら主体的に取り組んでいく。
●ガバメント2.0の推進について
Q 市民と共に取り組む、新しい仕組みづくりであるガバメント2.0の推進状況は。
A ガバメント2.0は、市民が市政に積極的に参加できる手段であると認識しており、オープンデータ化に取り組みとともに、市民参加型の

小・中学校にAEDの屋外型 収納ボックス設置を

公明党 三谷 小鶴

●自動体外式除細動器(AED)を使いやすくするための改善について
Q AEDが24時間使用できる屋外型収納ボックスを、小・中学校に設置しないか。
A AEDが近くにあり、いつでも、誰でも使えることは効果があると考えおり、他の自治体の設置や使用状況を確認し屋外も含めて設置方法などを検討していく。
Q 庁舎のAEDを分かりやすい場所に設置し、各フロアの案内掲示板にシールを貼

るなどの周知をすべきでは。
A 設置場所は、来庁者の目に触れる受付の横などを検討し、移動したい。変更後は、庁内の案内図に表示する。
Q バイスタンダー(救急現場に居合わせた人)が、応急処置を行った場合に、感謝カードを配布しないか。
A 救急業務の応援協定を締結している海老名市と座間市が、配布を検討しているため、本市も今後検討していく。

●災害対策について
Q 災害対応型カップ式自動販売機を、庁舎や避難所などに設置しないか。
A 庁舎は、避難所に指定していないため設置の考えはないが、既設の3台の自動販売機で対応できると考えている。避難所への設置は、水道工事が必要なことや停電や断水時に使用ができないため、考えていない。



光綾公園にバラが咲いています

教育勅語や銃剣道は国民主権 と平和教育に反しないか

日本共産党 上田 博之

●道徳を戦前の「修身」のような教科にさせないために
Q 戦前には国民に国のために命を捨てるといった教育がなされた認識はあるか。
A 一時期、そのような教育がなされたという意見や評価があることは承知している。
Q 修身教育の大本にある教育勅語の12の徳目を評価する声があるが、市の扱いは。
A 教育勅語を児童・生徒の教材で扱う考えはない。
Q 銃剣道は、中学校の学習指導要領で保健体育科の武道に新たに明記されたが、授業でどう扱うのか。
A 保健体育科の武道で銃剣道を扱うつもりはない。

●軍隊や武器を身近にさせる
Q 基地との友好は控えるべきでは
Q 厚木基地内で行われた日米親善春祭りや、米兵が米軍ヘリの機銃操作などを見学している親子に対し解説していたと聞かすが、市はどう対処したのか。
A 米海軍厚木航空施設外部に、市民が銃器に触れられる展示方法は好ましくないと申し入れ、今後、配慮すると米軍から説明を受けている。
Q 市は、厚木基地を観光資源と位置付けているが、基地の整理・縮小・返還の市の基本方針に反しないか。
A 地域固有の特性を持つ観光資源の一つとして活用したいと考えているが、慎重に対応していく。



市公認キャラクター「ブタッコリ」

インフラ管理システムの調査・研究に取り組んでいる。
Q 市民参加型のインフラ管理システム(道路補修通報システム)の導入状況は。
A 効果的な運用体制や市民との情報共有の在り方など先進市の課題、問題点を確認しながら本市に適したシステムの導入を検討している。

委員会の行政視察

委員会では、優れた施策を市政に反映させるため、先進地などを視察して、特定事項について情報を収集し、専門的知識を深めています。
視察内容の詳細は、議事事務局で閲覧できます。

議会運営委員会

視察日程・7月21日
【小田原市】
▽議会改革について
▽議会運営について



小田原市役所にて

議会の動き

●5月
11日 5月臨時会・議会運営委員会・総務教育、市民福祉、経済建設各常任委員会・基地対策特別委員会・議会報編集委員会



市の鳥「かわせみ」

- 6月
1日 6月定例会本会議(初日)・議会全員協議会
- 6日 市民福祉常任委員会
- 7日 経済建設常任委員会
- 8日 総務教育常任委員会
- 12日 基地対策特別委員会
- 15日 6月定例会本会議(第2日)
- 16日 6月定例会本会議(第3日)・議会運営委員会
- 19日 6月定例会本会議(第4日)
- 21日 6月定例会本会議(最終日)・議会全員協議会
- 26日 議会報編集委員会
- 7月
20日 議会全員協議会・議会改革検討協議会
- 21日 議会運営委員会行政視察(小田原市)
- 27日 沖縄県宜野湾市議会議員来市(基地の現状と対策)
- 31日 議会報編集委員会
- 8月
7日~8日 基地対策特別委員会行政視察(石川県小松市・小松基地)
- 18日 議会全員協議会
- 山口県柳井市議会議員来市(航空機騒音に対する市の取り組み)
- 22日 議会全員協議会
- 25日 議会運営委員会